

2024年度 事業年報



一般財団法人 芙蓉協会

FUYO ASSOCIATION SEIREI NUMAZU

聖隷沼津健康診断センター



発刊にあたって

聖隷沼津健康診断センターをご利用いただきましてありがとうございます。

このたび2024年度(令和6年度)の事業報告を発刊することができました。

昨年度より健康保険法改正にともない後期高齢者医療制度の保険料引き上げや短時間労働者に対する社会保険の適用範囲の変更などがありました。また国からの方針で12月から健康保険証の発行が終わり、マイナンバーカードへ切り替えがスタートしました。経過措置として猶予はありますが、当たり前になっていたものが新しいものになる大きな変化です。この切り替えに受診者様が困らないよう、スムーズなご予約・ご受診ができるように体制・対応を職員一同、頑張っまいます。

おかげさまで2024年度は当センターを122,544人の皆様にご利用していただくことができました。人間ドックをはじめ各種健康診断と保健指導を通して、地域・企業の皆様に心身共にいきいきと過ごしていただくための健康づくりと安心・安全に精度の高い健康診断、質の高い保健指導を提供できるように邁進してまいります。

本年報をご高覧いただき、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

聖隷沼津第一クリニック
聖隷沼津健康診断センター
所長 矢部 雅己

目次

発刊にあたって

理念・方針

受診者の権利・受診者の義務	1
個人情報保護方針	2
個人情報の利用目的	3
情報セキュリティ及びプライバシー方針並びに情報セキュリティ及びプライバシー目的	4
沿革	5
事業概要	8
事業計画	10
事業報告	12
組織図	14
職員の状況	15
常設会議・委員会	16
フロアマップ	17
機器精度管理・保守管理	18
外部精度管理結果一覧	20
研修・学会参加状況	21
学会発表抄録	23
健康増進講演メニュー	25
健康増進講演活動実績	26
2024年度を振り返って	27

基本理念

私たちは、より精度の高い健康診断と、
より質の高い保健指導を通して
地域・企業・健保の皆様が
心身共にいきいきと過ごすための
健康づくりを支援します。

施設運営方針

1. 環境の変化に適応する経営構造の構築と経営の安定化
2. 「共に働く仲間」を迎える採用環境の整備と人材育成の推進
3. 「連携」による“聖隷”ならではの一体化したサービスの提供
4. 健康経営ブランディング戦略を活かす最高の質による専門サービスの提供
5. 地域から必要とされる保健事業の使命の追求

受診者の権利・受診者の義務

受診者の権利について

1. 受診者の知る権利

当施設を利用される方は、健康診査によって得られた検査データの全てについて、その内容を知る権利を持ちます。

2. 選択の自由の権利

当施設を利用される方は、その社会的経済的地位・国籍・人種・宗教によって差別されることなく、平等に健康診断を受ける自由と権利を持ちます。

3. 自己決定の権利

当施設を利用される方は、医師からの説明を十分に理解した上で、検査や医療行為を受けるかどうかを決定できる権利があります。

4. プライバシー保護の権利

私共が健康診査を通して知りえた、利用された方々の全ての検査データは如何なる第三者にも秘密を保持します。

(但し、労働安全衛生法に定められた検査項目と、利用されるご本人の同意を得た検査データは、その限りではありません)

5. 助言を受ける権利

当施設を利用される方は、健康診査の結果に応じて医師・保健師・看護師・栄養士・運動トレーナーから、生活習慣・食生活・栄養・運動等の指導・助言を受ける権利をもちます。

受診者の義務について

1. 情報提供の責務

当施設を利用される方は、医師・医療スタッフに対しご自身の健康に関する情報を正確に知らせる義務があります。

2. 遵守の責務

当施設を利用される方は、快適な健診・検査が受けられるよう、当センターの規則並びに医療スタッフの指示を守る義務があります。

3. 環境保持の責務

当施設を利用される方は、他の受診者様に対し適切な健診環境が保てるよう、安全性や静寂性の配慮を行う義務があります。

2022年4月1日
一般財団法人 芙蓉協会
聖隷沼津第一クリニック
聖隷沼津健康診断センター
所長 矢部 雅己

個人情報保護方針

当法人では、当法人の医療施設をご利用頂く皆様方に安心して医療を受けて頂くために、安全な医療の提供を第一に考えるとともに、皆様方の個人情報につきましても適切に保護し管理することが重要であると考えています。

そのために当法人では、以下の個人情報保護方針を定め実施します。

1. 利用目的に限定した個人情報の収集について

当法人をご利用いただく皆様方の個人情報を収集する場合、健診・診療・看護・介護および皆様方の医療にかかわる範囲で行います。その他の目的に個人情報を利用する場合は利用目的を予めお知らせし、ご了解を得た上で実施します。ウェブサイト上で個人情報を必要とする場合も同様にいたします。

2. 個人情報の利用および提供について

当法人をご利用いただく皆様方の個人情報の利用につきましては以下の場合を除き、本来の利用目的の範囲を超えて使用いたしません。

- ◎ ご本人の了解を得た場合
- ◎ 個人を識別あるいは特定できない状態に加工^①して利用する場合
- ◎ 法令等により提供を要求された場合

当法人は、法令の定める場合を除き、ご本人の許可なくその情報を第三者^②に提供いたしません。

3. 個人情報の適正管理について

当法人をご利用いただく皆様方の個人情報について、正確かつ最新の状態に保ち、個人情報の漏洩・紛失・破壊・改ざんまたは当法人が所有する個人情報への不正なアクセスを防止することに努めます。

4. 個人情報の確認・修正等について

当法人をご利用いただく皆様方の個人情報について、本人より開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当法人の「診療情報の提供」に従い対応いたします。また、内容が事実でない等の理由で訂正を求められた場合も、調査し適切に対応いたします。

5. 安全管理措置について

当法人をご利用いただく皆様方の個人情報について、『医療情報システムの安全管理に関するガイドライン』に準じた法人、各施設が定めた組織的安全管理対策・物理的安全管理対策・技術的安全管理対策・人的安全対策により安全管理措置を行います。

6. 該当施設の責任者、所在地と問い合わせの窓口

- ・聖隷沼津病院 病院長 鶴井 聡 (静岡県沼津市本字松下七反田 902 - 6)
- ・聖隷沼津健康診断センター 所長 矢部 雅己 (静岡県沼津市本字下一丁田 895 - 1)
- ・聖隷訪問看護ステーション千本 所長 宇佐美 恩 (静岡県沼津市本字下一丁田 898 - 1)
- ・看護小規模多機能型居宅介護事業所せいれい緑町 所長 櫻井 悦子 (静岡県沼津市本字下一丁田 898 - 1)
- ・法人本部事務局 事務局長 山本 伊織 (静岡県沼津市本字下一丁田 898 - 1)

当法人の個人情報保護方針に関してのご質問やお問い合わせは以下の窓口でお受けいたします。

聖隷沼津病院「医事課」、聖隷沼津健康診断センター「事務課」
在宅事業部（訪問看護・看護小規模事業所）「各所長」 法人「総務課」

7. 法令等の遵守と個人情報保護の仕組みの改善

当法人は、個人情報の保護に関する日本の法令、厚生労働省のガイドライン、医学関連分野の関連指針、その他の規範を遵守するとともに、上記の各項目の見直しを適宜行い、JIS Q 15001の手順に準じ個人情報保護の仕組みの継続的な改善を図ります。

2024年7月1日
一般財団法人 芙蓉協会
理事長 青木 善治

①単に個人名を消し去ることで匿名化するのではなく、あらゆる方法をもって個人を特定できない状態にされていること。

②第三者とは、当法人をご利用いただく皆様方および当法人以外をいい、本来の利用目的に該当しない、またご自身によりその個人情報の利用の同意を得られていない団体または個人をさす。

*この方針は、当法人をご利用いただく皆様方のみならず、当法人職員および当法人と関係のあるすべての個人情報についても上記と同様に取扱いします。

個人情報の利用目的について

1. 法人内での利用

1. 利用者の皆様方に提供する医療サービス
2. 医療保険事務
3. 入退院等の病棟管理
4. 会計・経理
5. 医療事故等の報告
6. 利用者の皆様方への医療サービスの向上
7. 法人内医療実習への協力
8. 医療の質の向上を目的とした院内症例研究および統計
9. 精度管理
10. その他、利用者の皆様方に係る管理運営業務

2. 法人外への情報提供としての利用

1. 他の病院、診療所、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業所等との連携
2. 他の医療機関等からの照会への回答
3. 利用者の皆様方の診療のため、外部の医師等の意見・助言を求める場合
4. 検体検査業務等の業務委託
5. ご家族等への病状説明
6. 保険事務の委託
7. 審査支払機関へのレセプトの提供
8. 審査支払機関または保険者への照会
9. 審査支払機関または保険者からの照会への回答
10. 事業者および上部機関等から委託を受けた健康診断に係る、事業者および上部機関等への報告（結果通知・統計等）
11. 医師賠償責任保険等に係る、医療に関する専門の団体や保険会社等への相談または届出等
12. 精度管理事業への提供
13. 医療の質の向上を目的とした症例研究および統計（個人を識別あるいは特定できない状態に加工した上での学会発表資料等への利用）
14. その他、利用者の皆様方への医療保険事務に関する利用

3. その他の利用

1. 医療・介護サービスや業務の維持・改善のための基礎資料
2. 外部監査機関への情報提供
3. 治験または製造販売後臨床試験に関する調査および支援業務への協力
4. 医療費回収業務の弁護士や司法書士への相談又は委託

- 上記のうち、他の医療機関等への情報提供について同意しがたい事項、および同意の変更又は撤回事項がある場合には、その旨を担当窓口までお申し出ください。
- お申し出がないものについては、同意していただけるものとして取り扱わせていただきます。
- これらのお申し出は、後からいつでも撤回、変更等を行うことができます。

(2024年7月第8回改訂)

情報セキュリティ及びプライバシー方針並びに情報セキュリティ及びプライバシー目的

1. 情報セキュリティ及びプライバシー方針

聖隷沼津健康診断センター（以下、当センター）は、基本理念として「私たちは、より精度の高い健康診断と、より質の高い保健指導を通して地域住民の方が心身共にいきいきと過ごすための健康づくりを支援します。」を掲げております。

情報処理システムを用いて、個人識別可能情報（PII）の管理・処理を行い、顧客受診者皆さまの健診・人間ドックおよび産業保健・保健指導までの一連のサービス（以下、保健事業という）を提供してまいります。

当センターでは、ご利用される顧客・受診者皆さまの安全・安心及び信頼のもとに保健事業を構築し、安定的継続の確保をしております。そのためには、当センター内の個人識別可能情報（PII）を含む情報資産の重要性、特に個人情報及びプライバシーを深く認識し、その個人識別可能情報（PII）を含む情報資産の利活用と保護の両立が社会的責務であるとの認識のもとに、適切な情報セキュリティ対策を実施していくことが必要不可欠であると考えております。

そして、適切な情報セキュリティ及びプライバシー対策を実施するために情報セキュリティ及びプライバシー対策の包括的な規定として、ここに「情報セキュリティ及びプライバシー方針」を定め、当センターの情報資産を有効に利活用すると共にあらゆる脅威から守るために、経営資源を鑑みて必要な情報セキュリティの確保に最大限取り組んでまいります。

また、当センターは、本方針に基づき「プライバシー情報マネジメントシステム」を構築し、これを保健事業に関わる業務を行う全ての者が確実に実施し、これを遵守することにより、情報セキュリティに努めてまいります。

2. 情報セキュリティ及びプライバシー目的

当センターは、個人情報保護について、管理体制を徹底し情報のセキュリティと受診者のプライバシー保護の徹底に努めます。

個人情報の利活用においては、個人情報保護方針に則り、実施してまいります。

当センター、各部門において情報セキュリティ及びプライバシー方針に基づき、情報セキュリティ及びプライバシー目的を定め、ISMS - PIMS を実践してまいります。

また、プロセスにおける要求事項、アセスメント、対応結果を考慮し、保健事業サービスに関わる業務を行う全ての者が取り扱う個人識別可能情報（PII）を含む情報資産、特に個人情報が、漏洩、紛失、盗聴、改ざん又は誤用されないように、機密性・完全性・可用性を確保する体系的なリスクアセスメントに基づいた管理策を策定、実施いたします。

3. 情報セキュリティ及びプライバシーに関する法令等の遵守

当センターは、保健事業における情報セキュリティ及びプライバシーに適用される法令、各種規範・ガイドラインを特定し、これらを遵守いたします。

4. 情報セキュリティ及びプライバシー体制の強化

当センターは、すべての従業員に対し、計画的に教育・研修を実施し、当方針を周知徹底、実施するとともに、「プライバシー情報マネジメントシステム」を継続的に見直し、情報セキュリティ及びプライバシー体制を強化、有効に機能するよう努めます。

2022年10月1日
聖隷沼津健康診断センター
所長 矢部 雅己

沿革

1949	昭和	24年	3月	財団法人芙蓉協会設立登記
1950		25年	7月	財団法人芙蓉病院開設
1957		32年	2月	財団法人緑町病院と名称変更
1975		50年	9月	簡易保険人間ドック検診開始
1976		51年	2月	外来人間ドック検診開始
			4月	日本病院会「短期人間ドック（1泊2日）優良施設」指定
1981		56年	6月	力石 務 初代所長就任
			10月	聖隷沼津病院と名称変更
1986		61年	5月	中央労働災害防止協会健康診断機関名簿登載
			9月	日本総合健診医学会入会
1989	平成	元年	3月	婦人科検診車配備
1991		3年	9月	健康診断センター落成
1992		4年	6月	日本病院会「自動化健診（日帰り）優良施設」指定
1995		7年	3月	胸部 X 線検診車配備
			4月	骨密度測定装置設置
			6月	聖隷沼津第一クリニック開設（健康診断センターの診療所化 許可病床 8 床）
1996		8年	2月	胃部 X 線検診車配備
			4月	積 惟貞 2代目所長就任
1997		9年	4月	胃内視鏡室設置（ドック追加検査として胃内視鏡検査を開始）
1998		10年	4月	脳ドック開始
			4月	胃部 X 線検診車・胸部 X 線検診車 各 1 台増車
			10月	栗原 尚人 初代事務長就任
1999		11年	3月	増築棟落成（アスレチックルーム・各診察室（乳がん検診・子宮がん検診））
			4月	「政府管掌健康保険健診機関」指定
			4月	奥村 一之 3代目所長就任
			10月	中島 容一郎 4代目所長就任
2000		12年	1月	胸部 X 線検診車（直接・間接撮影兼用）配備
2001		13年	3月	福田 崇典 5代目所長就任
2004		16年	4月	力石 務 6代目所長就任
2005		17年	4月	伊藤 孝 7代目所長就任
			4月	飯尾 治利 2代目事務長就任
2006		18年	1月	X 線 TV 装置 2台設置
			3月	マンモグラフィ撮影装置新規導入
			12月	禁煙外来開始
2007		19年	1月	日本人間ドック学会「人間ドック・健診施設機能評価」認定
			4月	新健診システム導入 （1日ドックにおける『リアルタイムドック』方式を開始）
			9月	「臨床研修協力施設」指定
			12月	8 病床返還
2008		20年	3月	自動身長計付体組成計更新
			4月	出張健診用閾値検査用オージオメータ 2台新規導入
			5月	骨塩量測定装置更新
			5月	オージオメーター・オージオボックス機種更新
			9月	伊豆市婦人科出張検診よりマンモグラフィ検診車配備
2009		21年	2月	出張検診用無散瞳眼底カメラ購入
			2月	電子スパイロメーター機種更新
			5月	胸部 X 線一般撮影装置更新 （施設内における「デュアルエネルギーサブトラクション法」による胸部画像撮影・診断を開始）
			6月	全国労働衛生団体連合会「労働衛生サービス機能評価」認定
			9月	庄司産業 1 F を健診センター事務所に改修 事務課一部・運営管理課移転
			10月	ジャパン・マンモグラフィ・サンデー賛同医療機関として初参加
			12月	健診センター施設内改修（内視鏡室・レディースコーナー・更衣室・アスレチックルーム）
2010		22年	2月	I S M S（ISO/IEC27001：2005 JIS Q27001：2006）認証取得
			6月	子宮頸がん予防ワクチン接種開始
			7月	医用画像配信システム（PACS）新規導入
			8月	胸部・胃部 X 線検診車（I.I.D.R） 2 台増車

2011	23年	1月	電子内視鏡システム 1台機種更新
		1月	無散瞳眼底カメラ更新
		2月	日本人間ドック学会「人間ドック・健診施設機能評価」認定更新
		3月	P E T - C Tドック開始 (国際医療福祉大学熱海病院と提携)
		4月	及川 直之 3代目事務長就任
		5月	M R I撮影装置 (1.5 T)更新 (聖隷沼津病院) ※脳検査時使用
		7月	出張健診用閾値検査用オージオメータ 2台新規導入
		8月	検診車新駐車場完成
		8月	胸部X線検診車 1台増車
		10月	出張健診用心電計 1台増設
2012	24年	2月	全国労働衛生団体連合会「労働衛生サービス機能評価」認定更新
		3月	伊藤 孝 センター長就任
		3月	矢部 雅己 8代目所長就任
		3月	超音波診断装置 1台更新
		3月	出張健診用超音波診断装置 2台新規購入
		9月	特定保健指導品質管理マニュアル運用開始
		10月	胸部検診車 2台デジタル化
		11月	出張健診用心電図解析装置 1台新規購入
2013	25年	1月	I S M S (ISO/IEC27001:2005 JIS Q27001:2006) 認証更新
		2月	電子内視鏡システム 1台機種更新
		4月	一般財団法人へ移行 「一般財団法人 芙蓉協会」に名称変更
		5月	超音波診断装置 1台更新
		7月	胸部検診車 1台デジタル化 (胸部検診車全車両デジタル化完了)
		12月	超音波診断装置 1台更新
		12月	超音波診断装置 (婦人科用) 1台更新
2014	26年	1月	部門システム更新 (W i n d o w s 7対応)
		1月	画像システム更新
		1月	心電図システム更新
		6月	婦人科検診車 (子宮がん検診) 新規導入
2015	27年	2月	I S M S (ISO/IEC27001:2013 JIS Q27001:2014) 移行再認証取得
		3月	超音波診断装置 1台更新
		4月	健診センター施設内2F改修 (胃部X線装置増設・マンモグラフィ装置移設・診察検査室増設・読影室)
		4月	胃部X線装置 (施設内) 1台増設 (3台体制運用開始)
		6月	自動採血管準備装置 (施設内) 機種更新
		12月	ストレスチェック制度開始
2016	28年	1月	産業医学振興財団 職域健康診断実施機関認定取得
		2月	日本人間ドック学会「人間ドック・健診施設機能評価」認定更新
		3月	出張健診用心電図解析装置 1台更新
		4月	笠原 典彦 4代目事務長就任
		4月	聖隷保健事業部とサーバー共同利用によるデータの一元管理
		4月	健診センター施設内3F改修 (区域分け・配置再編成)
		4月	胃部X線装置 (施設内) 内視鏡改修
		8月	住民胃がん検診内視鏡検査開始
2017	29年	2月	健康経営優良法人2017~ホワイト500 (大規模法人部門) ~ 認定
		3月	出張健診用心電図解析装置 1台更新
		3月	J K A補助事業により胃胸部併用デジタル検診車 1台増車
		12月	施設内健診用心電図解析装置 1台更新
		12月	出張健診用心電図解析装置 1台更新
		12月	スポーツ庁「スポーツエールカンパニー」認証取得
2018	30年	1月	I S M S (ISO/IEC27001:2013 JIS Q27001:2014) 認証更新
		2月	全国労働衛生団体連合会「労働衛生サービス機能評価」認定更新
		2月	健康経営優良法人2018~ホワイト500 (大規模法人部門) ~ 二年連続認定
		3月	医用画像配信システム (P A C S) 更新
		3月	内視鏡ファイリングシステム更新
		3月	血圧脈波検査装置 更新
		3月	超音波診断装置 1台更新
		5月	電子内視鏡システム 1台機種増設 (3台体制)
		6月	日本産業衛生学会 研修協力施設認定
		10月	ノンコンタクトトノメーター 更新
		12月	スポーツ庁「スポーツエールカンパニー」認証取得

2019	令和 元年	9月 12月	出張検診用超音波装置 2台更新 スポーツ庁「スポーツエールカンパニー」認証取得
2020	2年	2月 3月 4月 4月 12月	JKA補助事業により胸部X線デジタル検診車 1台増車 健康経営優良法人2020～ホワイト500（大規模法人部門）～ 認定 多目的検診車 1台導入 施設内用空気清浄機 6台導入 スポーツ庁「スポーツエールカンパニー」認証取得
2021	3年	1月 1月 3月 3月 3月 3月 4月 8月	産業医学振興財団 職域健康診断実施機関認定更新 I S M S (ISO/IEC27001:2013 JIS Q27001:2014) 認証更新 健康経営優良法人2021～ホワイト500（大規模法人部門）～ 二年連続認定 画像統合ファイリングシステムのソフト+ハード 更新 心電図ファイリングシステムのハード 更新 施設内用超音波診断装置（日立ARETTA750VE） 1台更新 産業医科大学 専門的産業医実地研修育成研修機関認定 骨密度装置更新
2022	4年	1月 3月 4月 4月 5月 7月	スポーツ庁「スポーツエールカンパニー2022」認証取得 健康経営優良法人2022～ホワイト500（大規模法人部門）～ 三年連続認定 新健診システム導入 マンモグラフィ撮影装置更新 マンモグラフィ58号車検診車 マンモグラフィ撮影装置更新 自動血圧計 3台導入
2023	5年	2月 2月 2月 3月 3月 3月 3月 3月 4月 4月 6月 12月	スポーツ庁「スポーツエールカンパニーブロンズ2023」認証取得 I S M S (ISO/IEC27001:2013 JIS Q27001:2014) 認証更新 I S M S - P I M S (ISO/IEC 27701:2019) 拡張審査認証取得 健康経営優良法人2023～ホワイト500（大規模法人部門）～ 四年連続認定 日本人間ドック学会「人間ドック・健診施設機能評価」認定更新 施設内用検診着 更新 施設内用受診者待合椅子 更新 呼吸機能検査装置 更新 B r a i n S u i t e (ブレインスイート) 認知症リスク評価 導入 施設外用オージオメータ 1台更新 胃部21号車検診車 胃部X線装置更新 胃部X線検診車 1台増車（静岡医師会より）
2024	6年	1月 1月 2月 2月 2月 3月 3月 3月 3月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 9月	施設内胸部一般撮影装置更新 施設外用オージオメータ 1台更新 スポーツ庁「スポーツエールカンパニー2024」認証取得 I S M S (ISO/IEC27001:2022 JIS Q27001:2023) 認証更新 I S M S - P I M S (ISO/IEC 27701:2019) 拡張審査認証取得 胸部X線検診車 1台導入（三島共立病院より） 健康経営優良法人2024（大規模法人部門）認定 施設内多用途心電図解析装置 1台更新 施設内視野検査装置 1台導入 施設内体組成計 1台導入 施設内ロコモチェック機器 1台導入 施設内肌年齢測定器 1台導入 施設内健診用 超音波診断装置（婦人科用） 1台更新 日本人間ドック学会「人間ドック・健診施設機能評価」認定更新
2025	7年	1月 2月 2月 2月 3月 3月 3月 3月 3月	スポーツ庁「スポーツエールカンパニー2025」認証取得 I S M S (ISO/IEC27001:2022 JIS Q27001:2023) 認証更新 I S M S - P I M S (ISO:IEC 27701:2019) 認証更新 山本 伊織 5代目事務長代行就任 岡野 淳 6代目事務長就任 健康経営優良法人2025～ホワイト500（大規模法人部門）認定取得 出張健診用 無散瞳眼底カメラ 1台更新 施設内健診用 超音波診断装置 1台更新

事業概要

名称

一般財団法人芙蓉協会 聖隷沼津第一クリニック 聖隷沼津健康診断センター

所在地

〒410-8580 静岡県沼津市本字下一丁田895-1

電話：055(962)9882 / FAX：055(952)1019

認定・指定

日本人間ドック学会

【人間ドック健診施設機能評価認定施設《認定番号140》】(2022.4.1～2027.3.31)

【人間ドック健診専門医研修施設《認定番号235》】(2020.4.1～2025.3.31)

全国労働衛生団体連合会

【労働衛生サービス機能評価認定施設《認定番号 第145号》】(2022.6.1～2025.5.31)

情報セキュリティマネジメントシステム

【JIS Q 27001:2023 (ISO/IEC27001:2022) MSA-IS-126 認証取得】(2024.2.27～2027.3.23)

【JIS Q 27001 (ISO/IEC27701:2019) MSA-IS-126-PM 認証取得】(2024.2.27～2027.3.23)

マンモグラフィ検診精度管理中央委員会

【マンモグラフィ検診施設画像認定施設《第9932号》】(2023.9.1～2026.8.31)

中央労働災害防止協会

【安全衛生サービス(特殊健康診断等)名簿登載機関《登載番号41-22-09》】

全国健康保険協会管掌健康保険【生活習慣病予防健診事業委託機関】

保険医療機関指定《機関コード2211110438》

特定健康診査・特定保健指導機関指定《機関コード2211110438》

労災保険二次健診等給付医療機関《機関コード2231069》

全国労働衛生団体連合会総合精度管理事業参加機関《機関コード22006》

臨床研修協力施設《施設番号076538》

健康経営優良法人2024(大規模法人部門)認定(2024.3.11～2025.3.31)

スポーツエールカンパニー2024 シルバー認定(スポーツ庁)

《認定番号20240804》(有効期限2024.12.31)

スポーツエールカンパニー2025 シルバー認定(スポーツ庁)

《認定番号20250962》(有効期限2025.12.31)

事業内容

1日人間ドック・2日人間ドック・脳ドック・PET-CTドック
一般健診（生活習慣病健診・定期健康診断・雇入時の健康診断・特殊健康診断 他）
婦人科検診・各種がん検診（市町村・事業所 他）

施設

健診センター：延床面積（鉄筋コンクリート 3階建）1672.81 m²
庄司事務所：延床面積（鉄骨造）142.86 m²

検診車

胸部検診車4台 胃部検診車3台 胃部・胸部検診車1台 婦人科検診車1台
マンモグラフィ検診車1台 多目的検診車1台

2024年度 聖隷沼津健康診断センター 事業計画

2023年度は、健康経営ブランディング戦略を昇華させ、保健事業は、「費用ではなく投資である。」投資の結果としての成果にコミットしていく一步が踏み出せた年であった。

2024年度は、新たなビジネスモデルを構築していく。企業でも60歳以上の継続雇用により労働年齢構成が引き上げられている現状がある。「2025年問題」と共に、誰もが長く活躍できる社会へ貢献するために、健康経営ブランディング戦略を更に推し進めていく。60歳以上の継続雇用の労働者から高齢者に対する健康チェック、そして行動変容に繋がるトリガーとなる保健事業を新たなビジネスモデルとして提案をしていく。引き続き企業・健保様から保健事業は、「費用ではなく投資である。」と意識して頂き、「成果が見える！成果が感じられる！成果が伝わる！健康経営のパートナー！」として、「健康経営の推進」、「健康寿命の延伸」、「健診の質」、「情報管理の質」に力点を置き、地域から必要とされる保健事業の使命の追求を推進する。聖隷沼津病院、聖隷保健事業部、聖隷富士病院との連携を強化し、芙蓉協会としての特色を活かし地域・企業・健保の皆様へ「聖隷らしいサービス」を提供し、更なる信頼関係を築き静岡県東部地区での更なる優位性を確立していく。

これらの実現に向けて、職員一丸となって先見力・突破力・実行力・達成力のある組織を構築し、保健事業の未来像を描いていく。

【理念】

「私たちは、より精度の高い健康診断と、より質の高い保健指導を通して
地域・企業・健保の皆様が心身共にいきいきと過ごすための健康づくりを支援します。」

【スローガン】

「私たちは、地域・企業・健保の皆様の健康経営のパートナーです。」

【運営方針】

1. 環境の変化に適応する経営構造の構築と経営の安定化
2. 「共に働く仲間」を迎える採用環境の整備と人材育成の推進
3. 「連携」による“聖隷”ならではの一体化したサービスの提供
4. 健康経営ブランディング戦略を活かす最高の質による専門サービスの提供
5. 地域から必要とされる保健事業の使命の追求

【事業計画】

1. 環境の変化に適応する経営構造の構築と経営の安定化
 - 1-1 迅速な対応力、高い専門知識力を活かせる指揮命令系統と業務分掌を明確にした組織構築
 - 1-2 施設内・外共に、午後の有効活用強化による増収
 - 1-3 顧客分析に基づく契約内容の見直しによる収益増
 - 1-4 人間ドック・一般健診及び内視鏡予約枠の柔軟な対応
 - 1-5 積極的営業により、出張健診の拡大
 - 1-6 健康経営の推進によるワークエンゲージメントの向上
2. 「共に働く仲間」を迎える採用環境の整備と人材育成の推進
 - 2-1 医師確保に向けてリクルート活動の強化
 - 2-2 職員の能力（ライセンス・力量）を効果的に活用するための人材育成と教育体制の充実

- 2-3 各課 OJT を含めた教育プログラムの更なる強化
- 2-4 専門性を高めるため外部研修・学会等へ積極的に参加、専門資格取得を支援
- 2-5 ワークライフバランスの推進、働きやすい環境づくりによる働き方改革制度への対応
- 2-6 健康経営を推進し、スマートライフプロジェクト・がん対策推進企業アクションの活動による職員の健康管理（人間ドック・精密検査受診率 100%、残業時間短縮）

3. 「連携」による“聖隷”ならではの一体化したサービスの提供

- 3-1 聖隷沼津病院との更なる連携・紹介体制の強化
- 3-2 聖隷保健事業部、聖隷富士病院との連携（人・物・データ・画像）を強化し、更なる優位性の確保
- 3-3 地域企業との連携による新しいプランの構築
- 3-4 産業医科大学との連携による専門的産業医実地研修機関の確立

4. 健康経営ブランディング戦略を活かす最高の質による専門サービスの提供

- 4-1 健康経営の推進・健康寿命の延伸に向けた事後支援体制の確立
- 4-2 地域企業に対する産業保健活動を推進し、健康経営のパートナーとしての体制の構築
- 4-3 利用者様の目線に立った質の高い健診サービスの提供
- 4-4 ニーズにあった新規オプションの検討及び運用開始

5. 地域から必要とされる保健事業の使命の追求

- 5-1 第三者機能評価認定（ホワイト 500、ISMS-PIMS、人間ドック・健診施設機能評価、労働衛生サービス機能評価、専門的産業医実地研修機関等）を活用し、顧客からの信頼向上の構築
- 5-2 IT・組織の有効活用による PHR 等のデータの利活用と保護の両立
- 5-3 IA レポートの情報共有及び分析によるリスクマネジメントの強化
- 5-4 コンプライアンス経営の推進による安全で安心して働ける職場環境構築
- 5-5 業務の効率化を図り省資源・省エネルギー（紙・電気・ガス等）の実践
- 5-6 リサイクルを推進し廃棄物の削減を図り環境保全の実践

【経営目標】

総収益	1,593,000 千円
年間延受診者数	124,280 人
1 人あたり単価	12,800 円
平均職員数（正職員・準職員）	111 名

<内訳>

施設内	受診者数	施設外	受診者数
人間ドック	12,310 人		
一般健診	41,570 人	一般健診	26,620 人
婦人科健診	17,590 人	婦人科健診	9,010 人
外来	3,940 人		
その他	9,790 人	その他	3,450 人
計	85,200 人	計	39,080 人

施設内収益計 1,265,000 千円 施設外収益計 328,000 千円

2024年度 聖隷沼津健康診断センター 事業報告

2024年度は、巡回健診にて大口団体の契約解除による収入の減少、更には人件費や物価上昇に伴う費用の増加が見込まれ、経営面での対策が求められた。しかしながら、事業拡大については施設内・施設外とも受入許容の限界が近く、新たな付加サービスの提供や個別顧客ごとの契約内容の見直しを中心に対応した。結果、前年に比べ利用者数は減少したものの利益を伸ばすことができた。

今後も継続して、「健康経営の推進」、「健康寿命の延伸」、「健診の質」、「情報管理の質」に力点を置き、企業・保険者様から必要とされる保健事業の使命を追求し、選ばれ続ける施設として静岡県東部地区での更なる優位性を確立していく。

1. 経営構造の構築と経営の安定化

施設内の受入が飽和状態である中、午後を主とした外来枠の調整を行った。要望の強い労災二次健診受診枠を他外来枠と調整し、対前年54件であるが増加することができた。あわせて、胃カメラ検査枠についても、対前年544件増加することができた。また、契約金額を据え置いていた15市町の婦人科検診（乳がん）については価格交渉を行い、2025年度の増収に繋げている。近隣市町の施設外住民健診についても、長泉町を新規に契約を締結することができた。

2. 採用環境の整備と人材育成の推進

医師の高齢化が顕著であり、医師確保は今後も継続的に対応を続ける。労災二次健診等重症化の恐れがある利用者が増加する中で、検査枠の維持のためにも優先度を高め採用活動に尽力する。人材の育成では、各職場において専門資格の取得及び更新が行われている。事務職についても第一種衛生管理者の取得を進め、知識の向上に努めた。健康経営を推進するうえで職員の健康管理にも努め、人間ドック100%受診が達成できた。

3. 「連携」による“聖隷”ならではの一体化したサービスの提供

利用された方々の人間ドック・健康診断後や健診外来受診後の事後支援強化のために、聖隷沼津病院との更なる連携が必要である。精密検査受診率の向上は当然ながら、より早く治療に移行するために専門診療科への紹介体制を強化し、今後も継続的に対応していく。

4. 最高の質による専門サービスの提供

産業保健活動を推進し、健康経営のパートナーとして地域企業に対する情報提供（ビジュアルサマリー：団体別健診結果分析）を15社に実施した。専門職のアドバイスが企業内健康づくり活動の一助となっている。活動を通じ、地域の健康の維持・増進に寄与したい。また、新規オプション検査を導入（視野検査：288件、体組成測定：569件、エクオール：191件、肌年齢測定：532件）し、利用者の要望に応えた。

5. 保健事業の使命の追求

提供するサービスを安心して利用いただくためにも、院内での管理体制等を強化・可視化し第三者による機能評価認定は継続して受審していく。今年度も“ホワイト500”“ISMS-PIMS”“労働衛生サービス機能評価”“スポーツエールカンパニー”の取得及び更新が達成できた。

【経営実績】

※達成率：実績/予算、対前年比：実績/前年実績

	前年実績	予算	実績	達成率	対前年比
施設内受診者数（人）	80,028	80,732	81,148	100.5%	101.4%
施設外受診者数（人）	41,887	39,088	37,201	95.2%	88.8%
外来受診者数（人）	4,540	4,460	4,950	111.0%	109.3%
単価（円）	12,680	12,796	13,021	101.8%	102.7%

以下、法人版に転記

【2024 年度の主な行事】

法人全体

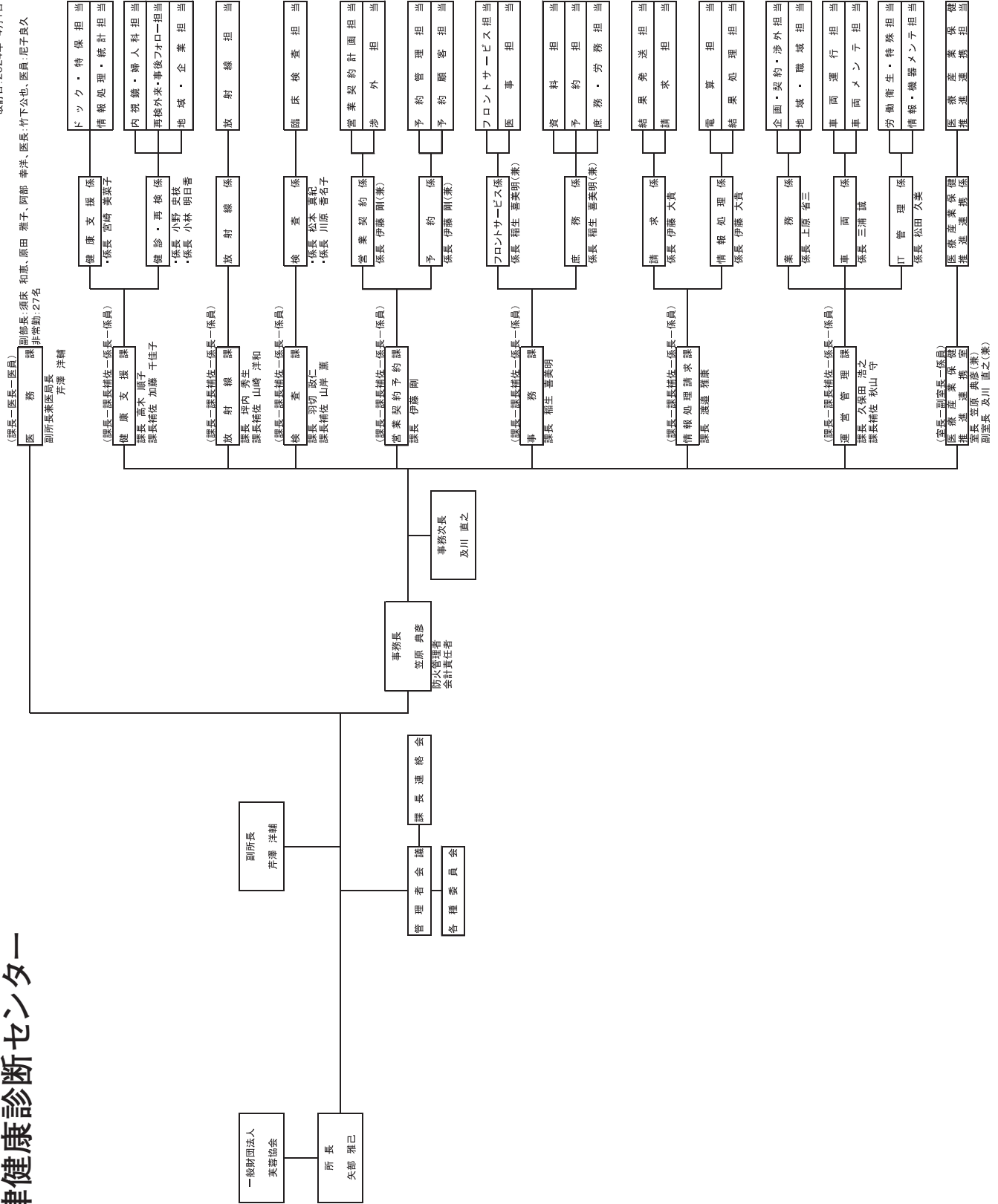
行 事 内 容	実 施 日
スポーツエールカンパニー2025 シルバー認定	1月31日
健康経営優良法人 2025（大規模法人部門（ホワイト500））認定	3月10日

聖隷沼津第一クリニック（聖隷沼津健康診断センター）

行 事 内 容	実 施 日
教育「健康経営の推進 保健事業計画 2024」	4月1日
教育「仕事と育児の両立のためのヒントをシェアしよう」	5月13日・1月17日
教育「禁煙のすすめ」	6月19日
教育「子宮頸がんワクチンについて」	7月1日
教育「ノンアルコール飲料を活用してお酒と上手に付き合おう」	7月13日
緊急連絡網（安否確認システム）訓練	7月18日
教育「地震津波対策」セミナー	8月1日
ジャパン・マンモグラフィ・サンデー	10月20日
感染対策「感染予防セミナー」	11月1日
地震（津波）想定防災訓練	11月18日
教育「ISMS 研修 I 2024」	12月23日
ISMS-PIMS（ISO/IES 27701：2019）維持審査	1月6日～7日
安全運転講習	1月29日
教育「エクオール検査について」	2月3日
全衛連「労働衛生サービス機能評価認定」更新審査	2月5日
火災想定防災訓練	3月5日

聖隷沼津健康診断センター 組織図

作成日: 2007年 4月1日
 改訂日: 2024年 4月1日



職員の状況（職種別職員数）

2024年4月1日現在

	雇用形態	人数	小計	備考	
医 務 課	常勤（正職員）	13人	35人	人間ドック専門医・認定医	5人
	非常勤（準職員）	1人		日本医師会認定産業医	10人
	アルバイト	21人		マンモグラフィ読影認定医	10人
				日本内科学会	1人
				日本外科学会	2人
				日本産科婦人科学会 産婦人科専門医	1人
				日本周産期・新生児医学会	1人
				日本循環器学会 循環器専門医	1人
				日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医	1人
				日本透析医学会 透析専門医	1人
				日本消化器外科学会 消化器外科専門医	1人
				日本消化器病学会 消化器病専門医	1人
				日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医	1人
				日本内科学会 総合内科専門医	1人
				人間ドックアドバイザー	1人
				労働衛生コンサルタント	3人
健康支援課	常勤（正職員）	37人	42人	保健師 ※看護職は再掲	27人
	常勤（準職員）	2人		看護師（准看護師含む） ※保健師は再掲	40人
	非常勤（派遣）	2人		管理栄養士	2人
	アルバイト	1人		健康運動指導士	4人
				第一種衛生管理者	14人
				人間ドックアドバイザー	6人
				産業カウンセラー	1人
				内視鏡技師	6人
				糖尿病療養指導士	1人
検 査 課	常勤（正職員）	32人	37人	超音波認定技師 （消化器・循環器・泌尿器・体表臓器・健診）	12人
	非常勤（準職員）	3人		QMS審査員補	1人
	非常勤（委託）	2人		心電図検定（2級）	5人
				乳房超音波検査講習会認定技師	5人
				第一種衛生管理者	1人
				ピンクリボンアドバイザー（中級）	1人
放 射 線 課	常勤（正職員）	7人	12人	胃がん検診専門技師	4人
	委託	5人		マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師	3人
				第一種衛生管理者	3人
運 営 管 理 課	常勤（正職員）	13人	15人	第一種衛生管理者	5人
	非常勤（派遣）	2人		大型自動車免許	8人
				ピンクリボンアドバイザー（初級）	1人
営 業 契 約 予 約 課	常勤（正職員）	7人	20人	第一種衛生管理者	6人
	常勤（準職員）	6人		ピンクリボンアドバイザー（初級）	1人
	非常勤（派遣）	3人			
	アルバイト	4人			
事 務 課	常勤（正職員）	3人	14人	第一種衛生管理者	2人
	常勤（準職員）	4人		大型自動車免許	1人
	非常勤（派遣）	7人			
情 報 処 理 請 求 課	常勤（正職員）	7人	12人	第一種衛生管理者	5人
	常勤（準職員）	1人			
	非常勤（派遣）	4人			
医 療 産 業 保 健 推 進 連 携 室	常勤（正職員）	3人	4人	I SMS 審査員	1人
	常勤（準職員）	1人		I SMS クラウドセキュリティ審査員	1人
				第一種衛生管理者	2人
				健康経営エキスパートアドバイザー	2人
合計		191人			

2024年度 聖隷沼津健康診断センター常設会議・委員会

下表のとおり、各種委員会委員を任命します。

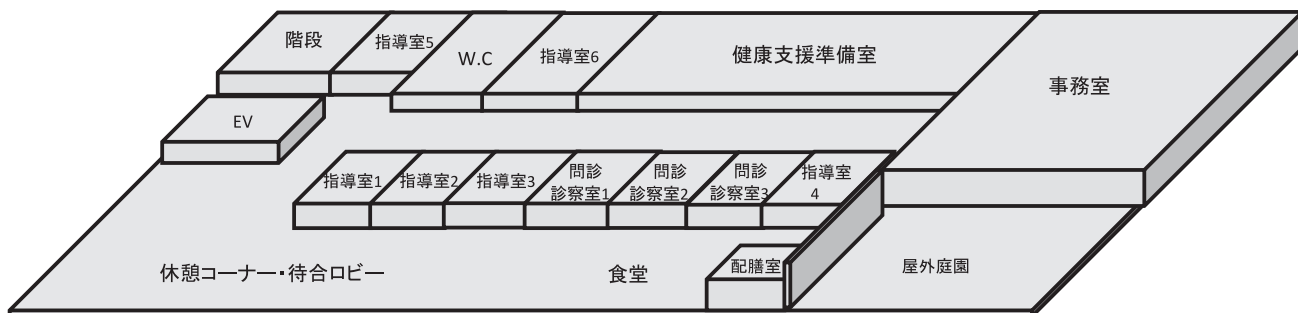
2024年5月1日付
聖隷沼津健康診断センター
所長 矢部 雅己

常設会議	開催日		出席者(◎司会△事務局)
管理会議	第3火曜日 16:00~	◎ 矢部 雅己 ○ 笠原 典彦 △ 川 直之 芹 澤 洋輔 伊 藤 剛 久 保 田 浩 之 稻 生 喜 美 明 羽 切 政 仁 高 木 順 子 渡 邊 雅 康 坪 内 秀 生 山 崎 洋 和 山 岸 薫 加 藤 千 佳 子 秋 山 守	
施設外検診運営会議	第1金曜日 16:00~	◎ 久 保 田 浩 之 ○ 加 藤 千 佳 子 △ 秋 山 守 △ 上 原 省 三 △ 三 浦 誠 △ 松 田 久 美 松 本 芳 幸 渡 邊 智 恵 岩 谷 卓 哉 有 貝 里 菜 毛 呂 文 江 鈴 木 香 菜 黒 崎 唯 渡 邊 翔 田 邊 里 紗 田 保 千 紘 佐 野 充 松 尾 直 弥 伊 藤 大 貴 山 岸 薫 大 橋 美 里 奈	
		①施設外健診の効率的運営の企画・実施 ②受診サービス向上の企画・実施 ③健診予定の連絡	
連絡会	開催日		出席者(◎司会△事務局)
全体連絡会	毎月1日(土除く) 16:00~	全員	
医局連絡会議	第4火曜日 15:00~	医 局 員 全 員	
課長連絡会	第2月曜日 16:00~	◎ 笠 原 典 彦 △ 及 川 直 之 伊 藤 剛 羽 切 政 仁 久 保 田 浩 之 稻 生 喜 美 明 高 木 順 子 渡 邊 雅 康 坪 内 秀 生 山 崎 洋 和 山 岸 薫 加 藤 千 佳 子 秋 山 守	
		①管理会議検討事項事前検証 ②各委員会からの上申事項内容検討対応	
営業情報連絡会	第4木曜日 16:00~	◎ 笠 原 典 彦 ○ 伊 藤 剛 △ 岩 瀬 雅 美 及 川 直 之 羽 切 政 仁 久 保 田 浩 之 稻 生 喜 美 明 高 木 順 子 渡 邊 雅 康 坪 内 秀 生 山 岸 薫 山 崎 洋 和 秋 山 守 加 藤 千 佳 子 宮 崎 美 菜 子	
		①施設内外の健診・指導等の実施・予約状況報告 ②新規契約団体・新規事業の企画 ③健診実施状況に対する傾向と対策 ④受診者リピーター率の報告・対策	
委員会名	開催日	委員構成(◎委員長○副委員長△事務局)	
倫理委員会	第3火曜日 16:00~	◎ 矢 部 雅 己 ○ 芹 澤 洋 輔 △ 及 川 直 之 伊 藤 孝 笠 原 典 彦 尼 子 良 久 飯 尾 治 利 (久 保 田 浩 之) (伊 藤 剛) (稻 生 喜 美 明) (羽 切 政 仁) (高 木 順 子) (渡 邊 雅 康) (坪 内 秀 生) (山 崎 洋 和) (山 岸 薫) (加 藤 千 佳 子) (秋 山 守)	
		①本クリニックにおける医の倫理に関わる事項を総合的に検討 ②法人全体に関わる倫理事項については、当協会の倫理委員会へ答申する内容を検討	
防災委員会 (消防法 第8条)	第2火曜日 16:00~	◎ 矢 部 雅 己 ○ 稻 生 喜 美 明 △ 伊 藤 大 貴 (防火管理者 笠原 典彦) (本部施設管理課) 岩 谷 卓 哉 佐 野 充 松 尾 直 弥 藤 原 菜 美 子 佐 野 真 衣 川 原 香 名 子 駒 水 涼 子	
		①防災訓練の開催 ②防災設備・意識の向上対応	
安全衛生委員会 (労働安全衛生法 第19条)	第1火曜日 16:00~	◎ 稻 生 喜 美 明 ○ 小 林 明 日 香 △ 松 本 真 紀 阿 部 幸 洋 (産業医)伊 藤 孝 (衛生管理者)加 藤 千 佳 子 (本部総務課) 中 西 湖 雪 三 浦 誠 門 内 恵 佐 藤 春 奈 阿 部 ル ミ 子 辻 村 裕 美 日 吉 ゆ き の	
		健康経営の実現(ステージⅡ:PDCAサイクルの実践) ①安全衛生管理活動 ②健康増進活動(スマートライフプロジェクト) ③感染症対策	
リスクマネジメント委員会 (聖隷沼津第一クリニック 医療安全対策指針)	第2木曜日 16:00~	◎ 高 木 順 子 ○ 久 保 田 浩 之 △ 山 岸 薫 矢 部 雅 己 芹 澤 洋 輔 笠 原 典 彦 及 川 直 之 羽 切 政 仁 伊 藤 剛 稻 生 喜 美 明 渡 邊 雅 康 坪 内 秀 生 山 崎 洋 和 加 藤 千 佳 子 秋 山 守 (健康支援課係長)	
		①インシデントレポートの分析、対応 ②医療事故防止のための医療安全対策会議を含む ③プロセスアセスメントシートとの連動検討 ④医療に係わる安全管理のための研修2回/年実施	
ISMS-PIMS情報セキュリティ委員会 (ISO/IEC27701:2019)	第2木曜日 16:30~	◎ 笠 原 典 彦 ○ 羽 切 政 仁 △ 山 崎 洋 和 矢 部 雅 己 芹 澤 洋 輔 及 川 直 之 久 保 田 浩 之 伊 藤 剛 稻 生 喜 美 明 渡 邊 雅 康 高 木 順 子 坪 内 秀 生 山 岸 薫 加 藤 千 佳 子 秋 山 守	
		①ISMS-PIMSシステムの運用の実施 ②ISMS-PIMS関連勉強会の実施 ③ISMS-PIMS内部監査の実施	
認定更新・年報委員会	第4火曜日 16:00~	◎ 伊 藤 剛 ○ 山 崎 洋 和 勝 亦 拓 也 石 井 麻 美 相 磯 真 理 子 成 田 彩 央 里 千 頭 和 い つ み 田 邊 里 紗 渡 邊 智 恵 鈴 木 香 菜 門 内 恵 田 沢 有 佳 里 阿 部 ル ミ 子 齋 藤 友 里 恵 野 木 三 鈴	
		①第三者機能評価認定及び精度管理の品質評価のチェック機構的活動を三ヶ月に1回チェックする ②第三者機能評価及び内部監査の実施 ③委員長は、認定施設実務責任者を兼務する。 ④年報の準備及び作成・管理	
CS(利用者満足)・ ES(職員満足) 向上委員会	第1木曜日 16:00~	◎ 坪 内 秀 生 ○ 山 岸 薫 △ 山 崎 洋 和 △ 小 野 史 枝 須 浦 和 恵 伊 藤 剛 稻 生 喜 美 明 宮 崎 美 菜 子 小 林 明 日 香 松 本 真 紀 川 原 香 名 子 三 浦 誠 上 原 省 三 松 田 久 美 伊 藤 大 貴	
		①利用者様満足度(CS)向上のためのアンケート調査の継続・改善 ②施設内・外の徹底的な接客対応を企画・実施 ③建物内外、車両等の美化活動(七夕飾り・クリスマス飾りなど) ④意見投書等に対する運用上の検討及び統計・分析・返答書の対応 ⑤各職場からの問題点に対する検討・対応 ⑥エコ活動推進対策	
研修広報委員会	第3木曜日 16:00~	◎ 山 崎 洋 和 ○ 小 野 史 枝 △ 川 原 香 名 子 松 本 芳 幸 黒 崎 唯 湯 原 道 代 小 林 美 帆 岩 崎 愛 町 田 皓 平 辻 村 裕 美 勝 亦 拓 也	
		①全体会の各職場の研修・勉強会の企画・実施(年間の予定作成・実施)勉強会等の出席管理 ②施設内外研修の対応 ③ホームページ・メデイネットの運用 ④掲示物等に関する運用・管理 ⑤健診センターのパンフレット等の内容検証	
検査適正委員会	奇数月 第2月曜日 16:30~	◎ 羽 切 政 仁 ○ 坪 内 秀 生 △ 齋 藤 友 里 恵 笠 原 典 彦 及 川 直 之 伊 藤 剛 久 保 田 浩 之 稻 生 喜 美 明 渡 邊 雅 康 高 木 順 子 山 岸 薫 山 崎 洋 和 加 藤 千 佳 子 秋 山 守	
		①健診項目の基準値・判定基準等の管理および検討 ②精度管理実施報告 ③がん検診・特殊健康診断の質の向上を図るため集計及び有所見者数等の経年分析の実施	
健診画像システム管理委員会	第2水曜日 16:00~	◎ 渡 邊 雅 康 ○ 山 崎 洋 和 △ 山 岸 薫 小 林 明 日 香 鈴 木 玲 美 杉 山 友 哉 松 本 真 紀	
		①現行の健診内画像系システムの管理 ②次期システムに関する画像系システムの構築	
購入委員会	第4火曜日 15:00~	◎ 笠 原 典 彦 ○ 及 川 直 之 ○ 近 藤 篤 史 △ 伊 海 香 里 栗 田 知 明	
特定保健指導品質管理委員会	第2金曜日 16:00~	◎ 宮 崎 美 菜 子 ○ 高 木 順 子 △ 伊 藤 剛 毛 呂 文 江 飯 坂 隆 志 宮 澤 愛 佳 田 沢 有 佳 里 渡 邊 麻 莉 子	
		①特定保健指導サービスの品質管理に関する目標・計画・評価・その他の事項を審議する	

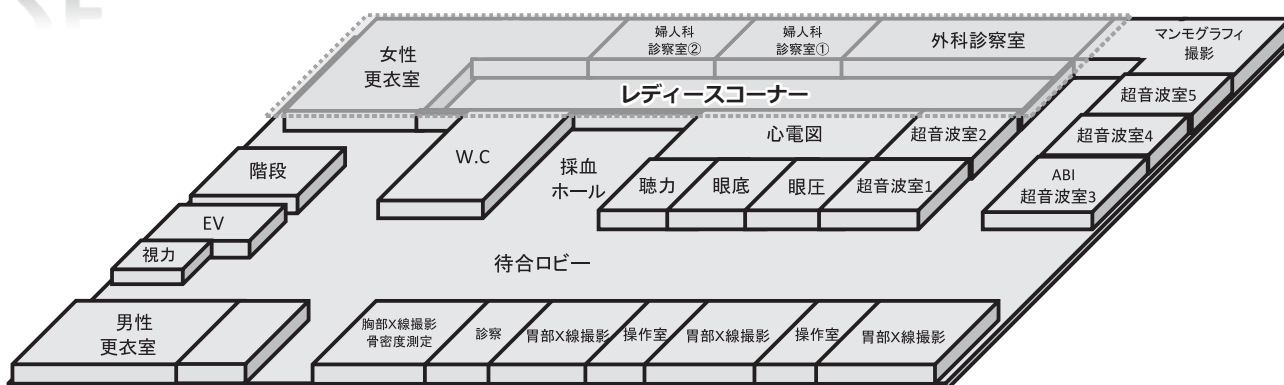
※ 書記及び事務局は、会議又は委員会終了後1週間以内に事務課長まで議事録を提出すること
 ※ 各委員会は、1時間以内で終了するよう運用すること
 ※ 開催日時に関しては、各委員会ごと検討し変更のある場合には、各職場長及び事務局長へ報告すること
 ※ 年間の開催予定日を作成し議事に付けること
 ※ 木曜日に開催予定の場合は、トヨタダックがあるので場所を庄司事務所2階食堂にて開催すること

フロアマップ

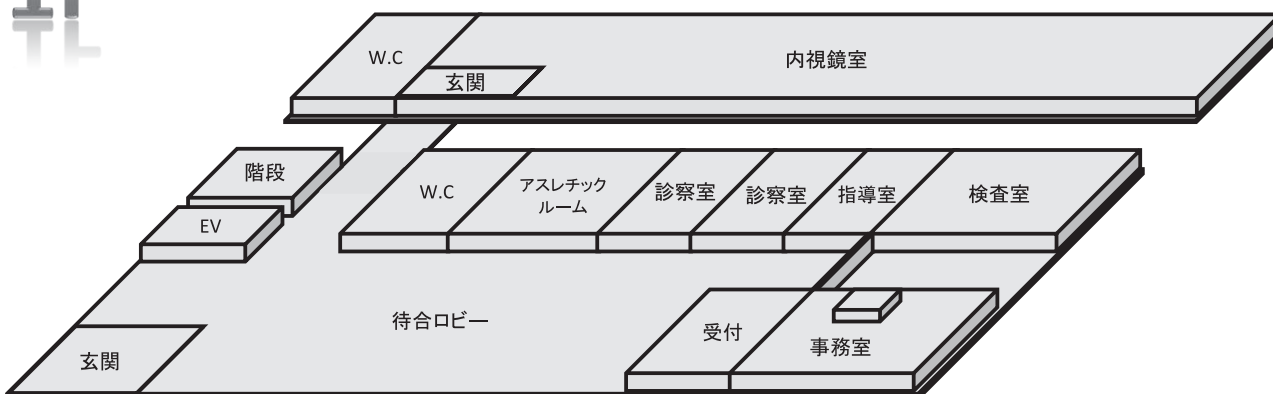
3F



2F



1F



機器精度管理・保守管理

施設内機器 (1)

機器・装置名	機種	保守・管理計画	担当者
胸部 X 線撮影装置	BENEO Fx	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		メーカー保障点検	〔富士フィルム〕
胃部 X 線透視装置	ESPACIO AVANT (2台) EXAVISTA	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 2 回保守点検及びフラットパネルの精度管理実施	〔富士フィルム〕
ドライイメージャー	DRYPRO Σ II	自動キャリブレーションによる補正	〔コニカミノルタ〕
マンモグラフィ撮影装置	Senographe Pristina (2D)	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 1 回保守点検及びフラットパネルの精度管理	〔GE ヘルスケア〕
PACS	Centricity PACS UV100 システム	リモートによる保守管理	〔GE ヘルスケア〕
レポートシステム	ProRadKRS	リモートによる保守管理	〔GE ヘルスケア〕
骨密度測定装置	ALPHYS A	自動キャリブレーションによる補正	〔富士フィルム〕
全自動尿分析装置	US-3500	始業時・昼・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 1 回保守点検	〔栄研化学〕
		定期メンテナンス	〔部内担当者〕
尿中有形成成分分析装置	iQ200SPRINT	始業時・昼・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 2 回保守点検	〔富士レビオ〕 〔H.U. フロンティア〕
		定期メンテナンス	〔部内担当者〕
便潜血用全自動免疫化学分析装置	OC-PLEDIA	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 1 回保守点検	〔栄研化学〕
		定期メンテナンス	〔部内担当者〕
生化学・免疫インテグレーション装置	Alinity c2i	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 2 回保守点検	〔アボットジャパン〕
		定期メンテナンス	〔部内担当者〕
多項目自動血球分析装置	XN-3100	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		定期メンテナンス	〔部内担当者〕
		年 1 メーカーメンテナンス	〔年 1 回保守点検 sysmex〕
全自動輸血検査装置	Auto Vue InnoVa II	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 1 回保守点検	〔オーソ〕
		定期メンテナンス	〔部内担当者〕
自動グリコヘモグロビン分析計	HLC-723 G 11	始業時・昼・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 1 回保守点検	〔東ソー〕
		定期メンテナンス	〔部内担当者〕
全自動血液凝固分析装置	CN3000	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 1 回保守点検	〔S y s m e x〕
		定期メンテナンス	〔部内担当者〕
自動身長計付体組成計	TANITA DC-250	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 1 回保守点検	〔T A N I T A〕
		静岡県計量協会による検定	
自動採血管準備装置	BC・ROBO-8000RFID	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		定期メンテナンス	〔部内担当者〕
心電図解析装置	CardioStar FCP8700 (2台)	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
オージオメータ	RION AA-79	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 1 回保守点検	〔R I O N〕
無散瞳眼底カメラ	canon CR-2 AF	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
超音波診断装置	ARIETTA 750 Deep Insight LOGIQ S7 Expert LOGIQ S7 with XD clear 日立製作所ヘルスケア ARIETTA750 ARIETTA 650 Deep Insight	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
電子スパイロメーター	spiroScan SP-390Rhino	始業時・終業時点検 年 1 回保守点検	〔部内担当者〕 〔日本光電〕
動脈硬化検査装置	form BP-203RPE III	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		定期メンテナンス	〔部内担当者〕
コンパクト視力計	CA-1000	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
眼圧計	コンパクトトノメータ FT-01	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
定屈折近点計	DACOMO	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
体組成装置	MC-780A-N	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
視野検査装置	アイモ scan	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕

施設内機器 (2)

機器・装置名	機種	保守・管理計画	担当者
自動体外式除細動器	NIHON KOHDEN cardioline	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
超音波診断装置(乳房)	HIVISION Avius	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
超音波診断装置(婦人科)	FUTUS	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
上部消化管ビデオスコープ	GIF-XP290N(経鼻用) GIF-1200N(経鼻用) GIF-PQ260(経口用) GIF-H290(経口用)	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		修理保守	〔オリンパス・協和〕
下部消化管ビデオスコープ	PCF-H290ZI PCF-H290L PCF-H290I	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		修理保守	〔オリンパス・協和〕
内視鏡洗浄器	OER-5(3台)	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		修理保守	〔オリンパス・協和〕
超音波洗浄器	BRANSON	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		修理保守	〔EMERSON・協和〕
高音波手術装置	ESG-100	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		修理保守	〔オリンパス・協和〕
吸引器	KV-5(2台) KV-6(1台)	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		修理保守	〔オリンパス・協和〕
モニター	OEV261H(1台) OEV262H(2台)	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		修理保守	〔オリンパス・協和〕
システムセンター	CV-290(3台)	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		修理保守	〔オリンパス・協和〕
光源装置	CLV-290SL(3台)	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		修理保守	〔オリンパス・協和〕
全自動血圧計	TM-2657VP(1台)	始業時点検	〔部内担当者〕
バイタルセンサ S	TM-2950(2台) TM-2951(1台)	始業時点検	〔部内担当者〕

施設外機器

機器・装置名	機種	保守・管理計画	担当者
胸部検診車 1号車	RadnextCS	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
胸部検診車 2号車	RadnextCS	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
胸部検診車 3号車	RadnextCS	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
胸部検診車 5号車	RadnextEX	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
胸部X線デジタル撮影装置	CXDI-401G COMPACT (胸部検診車 1号車・3号車・5号車 胸部胃部 23号車)	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
	CXDI-701G Wireless (胸部検診車 2号車)	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
胃部検診車 21号車	ESPACIO AVANT	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
胃部検診車 22号車	TU-MA5plus(胃部)	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
胸部胃部併設検診車 23号車	RadnextCS(胸部)	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
	ESPACIO(胃部)		
胃部検診車 24号車	ESPACIO	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
マンモグラフィ 58号車	Senographe Pristina Mabile (2D)	始業時・終業時点検 年1回保守点検及びフラットパネルの精度管理	〔部内担当者〕 〔GEヘルスケア〕
ポータブルX線撮影装置	x-buggy Comfy	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
心電図解析装置	CardioStar FCP8700(2台)	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
	CardioStar FCP8600(3台)	年1回保守点検	〔フクダ電子〕
オージオメータ	RION AA-K1A(2台)	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
	RION AA-58(2台)	年1回保守点検	〔RION〕
無散瞳眼底カメラ	cacon CR-2 AF	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
超音波診断装置	viamo	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
体重計	AD-6122	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		検定(2年に1回)	〔静岡県計量協会〕
体脂肪・体重計	DC-320	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		検定(2年に1回)	〔静岡県計量協会〕
デジタル身長計	AD-6227	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
コンパクト視力計	CA-1000 NS-1000	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕

外部精度管理結果一覽

	精度管理名称	主催	評価			
5月	令和6年度静岡県臨床検査精度管理調査	静岡県臨床衛生検査技師会	良好			
6月	令和6年度日臨技精度管理調査	日本臨床検査技師会	項目・評価	A + B	C	D
			臨床化学	68	0	0
			免疫血清	22	0	0
			微生物	20	0	0
			血液	27	0	0
			一般	20	0	1
			生理	23	0	1
			輸血	35	0	0
			P O C T	14	0	0
			計	229	0	2
1月	令和6年度全衛連胸部X線検査精度管理調査	全国労働衛生団体連合会	評価 A			
2月	令和6年度全衛連臨床検査精度管理調査	全国労働衛生団体連合会	総合評価 = A (点)			
3月	令和6年度全衛連胃X線検査精度管理調査	全国労働衛生団体連合会 日本消化器がん検診学会	総合評価 = A (点)			

研修・学会参加状況 (2024 年度)

	研修・学会名	部署	参加者
4月	第111回 日本泌尿器科学会総会	健診医務課	芹澤 洋輔
	第76回 日本産科婦人科学会	健診医務課	須床 和恵
	第124回 日本外科学会定期学術集会	健診医務課	阿部 幸洋
5月	第97回 日本産業衛生学会	健診医務課	阿部 幸洋
	第107回 日本消化器内視鏡学会総会	健診医務課	竹下 公矢
	第97回 日本産業衛生学会	健診医療産業	中西 湖雪
	第42回 人間ドック健診情報管理指導士研修プログラム	健診健康支援課	島田 真衣
	産業保健セミナー	健診健康支援課	鈴木 亜紀
	第10回 健康と経営を考える会シンポジウム	健診放射線課	松尾 直弥
	第10回 健康と経営を考える会シンポジウム	運営管理課	渡邊 翔
6月	第10回 健康と経営を考える会シンポジウム	健診情報処理請求課	町田 皓平
	第69回 日本透析医学会学術集会・総会	健診医務課	芹澤 洋輔
	第97回 日本超音波医学会	健診検査課	松本 真紀
	第97回 日本超音波医学会	健診検査課	齋藤 友里恵
7月	日本人間ドック学会 健診事務職育成セミナー 発展編	健診事務課	稲生 喜美明
	第79回 日本消化器外科学会	健診医務課	竹下 公矢
	特定保健指導に関する研修会	健診健康支援課	鈴木 亜紀
	特定保健指導に関する研修会	健診健康支援課	宮澤 愛佳
	特定保健指導に関する研修会	健診健康支援課	須川 美奈代
	特殊健康診断研修会	健診健康支援課	田保 千紘
	胃部X線検査オンライン研修会 (精度管理・基礎コース)	健診放射線課	佐野 充
	特殊健康診断研修会	健診営業契約予約課	後藤 真由美
	特殊健康診断研修会	健診営業契約予約課	勝亦 拓也
	特殊健康診断研修会	健診営業契約予約課	日高 操
8月	特殊健康診断研修会	健診営業契約予約課	加藤 敬子
	特殊健康診断研修会	健診情報処理請求課	伊藤 大貴
	第2回 人間ドック健診専門医研修会	健診医務課	阿部 幸洋
	第一種衛生管理者講習会	運営管理課	秋山 守
8月	健康経営会議	運営管理課	渡邊 翔
	選別聴力検査研修会	運営管理課	渡邊 翔

	研修・学会名	部署	参加者
9月	第65回 日本人間ドック学会学術大会	健診医務課	芹澤 洋輔
	第65回 日本人間ドック学会学術大会	健診医務課	阿部 幸洋
	第65回 日本人間ドック学会学術大会	健診センター事務長	笠原 典彦
	第65回 日本人間ドック学会学術大会	健診健康支援課	高木 順子
	第65回 日本人間ドック学会学術大会	健診健康支援課	湯原 道代
	安全運転管理者等講習会	運営管理課	三浦 誠
	第65回 日本人間ドック学会学術大会	運営管理課	渡邊 翔
	第65回 日本人間ドック学会学術大会	健診情報処理請求課	町田 皓平
10月	静岡県東部地区産業医研修会	健診医務課	阿部 幸洋
	第32回 日本消化器関連学会	健診医務課	竹下 公矢
	健康長寿産業フォーラム	健診医療産業	中西 湖雪
	被保険者に対する特定保健指導委託機関研修会	健診健康支援課	鈴木 亜紀
	被保険者に対する特定保健指導委託機関研修会	健診健康支援課	宮澤 愛佳
	第15回 全国健康増進協議会	健診営業契約予約課	伊藤 大貴
	第15回 全国健康増進協議会	健診情報処理請求課	町田 皓平
12月	第37回 日本内視鏡外科学会	健診医務課	竹下 公矢
	採血と血圧測定 オンライン研修会	健診健康支援課	小林 美帆
	呼吸機能検査と超音波検査の活用研修	健診検査課	齋藤 友里恵
	呼吸機能検査と超音波検査の活用研修	健診検査課	西原 幸穂
1月	第43回 人間ドック健診情報管理指導士研修アドバイザー	健診健康支援課	成田 彩央里
	保健師・看護師等研修会(保健指導コース)	健診健康支援課	島田 真衣
	第21回 乳房超音波技術講習会	健診検査課	原田 葵
	健診機関職員研修会基礎コース	健診営業契約予約課	竹平 ゆいな
2月	静岡県東部地区産業医研修会	健診医務課	阿部 幸洋
	ストレスチェック研修	健診健康支援課	小林 明日香
	日本超音波医学会 超音波診断講習会(血管)	健診検査課	辻村 裕美
	スタートアップ研修会	健診検査課	西原 幸穂
	タスクシフト・シェアに関する厚生労働大臣指定講習会	健診検査課	西原 幸穂
3月	第98回 乳がん更新講習会	健診医務課	矢部 雅己
	第8回 乳房超音波医師試験	健診医務課	矢部 雅己
	日本超音波医学会 超音波診断講習会(消化器)	健診検査課	辻村 裕美

第 65 回 日本人間ドック学会学術大会発表抄録

●ストレスチェック職場分析を用いた高ストレス者比率低減の検討

○笠原 典彦 渡邊 雅康 伊藤 大貴 町田 皓平

【目的】

2022 年当センターでは、新健診システムの更新導入があり、その不具合と運用変更に伴って、職場環境が著しく低下した。毎年実施している「ストレスチェック」でも評価は大きく低下した。その中でも結果処理、電算担当部署は、高ストレス者比率は 27.3% から 62.5% と大幅に悪化した。職場環境改善に取り組み、高ストレス者比率を低減させるための検討を行う。

【方法】

「2022 年度ストレスチェック（新職業性ストレス簡易調査票 80 問）」の職場分析サマリーシートの結果に基づいて、「仕事の負担」と「仕事の資源」項目の心理的ストレス反応と心理的ストレス反応に影響する要素についてラインケアの観点より重点項目を選択し、改善プロセスを実施し、「2023 年度ストレスチェック（新職業性ストレス簡易調査票 80 問）」の結果、高ストレス者比率の低減に繋がったかを検討評価する。

【結果】

「2023 年度ストレスチェック（新職業性ストレス簡易調査票 80 問）」の結果は、高ストレス者比率は、62.5% から 0% と大幅改善に繋がった。「仕事の負担」7 項目の内 6 項目が改善傾向となり、「仕事の資源」のラインケアに関連する 14 項目すべてが改善傾向となり、心理的ストレス反応、総合健康リスク、職場の一体感、ワークエンゲイジメントも改善傾向という結果となった。

【考察】

ストレスチェック制度開始からの真の目的である、ストレスチェック職場分析を活用したから職場改善の実施は、高ストレス者比率の大幅改善という結果に繋がった。他の項目を改善傾向となり職場に笑顔があふれるようになった。超勤時間の削減、有給消化率の向上という更なる効果も生み出した。今後も、ストレスチェック職場分析を有効に活用し、笑顔で、元気で働けるワークエンゲイジメントの向上させ、健康経営の実践に邁進していく。

●属人化解消のための請求ディレクトシートの検討

○町田 皓平 笠原 典彦 渡邊 雅彦 伊藤 大貴

【目的】

情報処理請求課の業務のなかでも請求業務は、業務の専門性が高く、経験と知識が必要である。請求業務が担当できる力量に到達するまでには、かなりの年数を有する。属人化解消のために、その業務の知識がある職員の増員、やり方を他の職員に共有する方法を行っていたが、属人化解消には至らず、新たな方法で属人化解消が行えないかと思い、属人化解消の新たな方法を検討し、業務に実装できるかどうかを検討する。

【方法】

属人化解消の効果は、1 業務品質の向上、2 スキルアップ、3 作業効率の向上が考えられる。これらの要素を向上させるための属人化解消の新たな方法を検討し、業務に実装できるかどうかを検討する。

【結果】

1 業務品質の向上、2 スキルアップ、3 作業効率の向上に繋がる要素を業務プロセスの中から洗い出し「請求ディレクトシート」に実装することによって3つの属人化解消の効果は向上した。その結果、請求作業の日数は、5日間の短縮ができ、月次請求発送締切日の期日無しのカテゴリーが解消でき、規則的な請求スケジュールの実行が可能になった。「請求ディレクトシート」の検索、データ蓄積の特徴を活かすことによって入金の手配も定期的に行えるようになり、請求から入金の正確な管理が行えるようになった。顧客からの請求問い合わせ事項についても迅速で正確な返答が行えるようになった。属人化解消の効果は、超過勤務時間の削減にも繋がりました。

【考察】

属人化解消は、組織にとって大きな課題である。今回過去に取り組んできた方法と違う視点での解決を課内のスタッフを巻き込み、衆知を集めて取り組んだことにより、この結果を生んだ。活力と熱意と没頭の3要素が向上し、ワーク・エンゲイジメントを高めて、今後も健康経営のパートナーとして、顧客の役に立てるように努力してまいります。

●ドック受診者における便潜血陽性者への個別面談の充実化への取り組み

○湯原 道代 相磯真理子 杉山さおり 宮崎 美菜子 高木 順子

【目的】

当施設では人間ドック当日、便潜血検査陽性者(以下陽性者とする)に、面談にて大腸内視鏡検査の受診を勧めている。私の近親者が陽性者であり、説得して行った精検で大腸がんが発覚し、手術に至ったという事例を経験し、受診してほしいという気持ちが強くなった。よって、スタッフの面談内容の問題点を明らかにし、陽性者への面談内容を充実させたいと考えた。

【方法】

面談を実施するスタッフ34名を対象とし、自記式無記名質問調査(以下アンケートとする)、テストを実施。テストの平均点が低い項目とアンケートで自信がない項目をもとに勉強会を開催し、再度テストとアンケートを実施し、前後の結果についてクロス集計、X検定を用いて分析した。

【結果】

テスト(59点満点)の平均点は勉強会前41点、勉強会后51点だった。テストの項目では4項目の各平均点と合計の平均点で有意に上昇を認めた。アンケートを比較すると、「説明時、自信のない項目」では7項目で有意に低下を認めた。また、「説明している内容の項目」では6項目で有意に上昇を認めた。また、「勉強不足だった」「グラフを使用した資料がない」などが意見としてあがった。

【考察・結語】

勉強会后、テストの各項目の平均点が有意に上昇を認め、説明時、自信のない項目が有意に低下を認めたことにより、勉強会によって精検へつなげる知識が増え、自信がついたと考えられる。現在、文字や数値のみの資料であり、限られた時間に視覚で伝える資料媒体がないことから、利用者にとって印象が薄くなっていると考えられる。今後は、印象づけるための視覚的に伝える資料媒体を作成していくことや知識を定着させるため定期的な勉強会を実施していくことで、より面接内容を充実させていきたいと思う。

健康増進講演メニュー

	テーマ	内容
生活習慣病関連	生活習慣病改善について	生活習慣病予防のために必要なことをポイントをもってお話します
	メタボリックシンドローム	メタボリックシンドロームの発生メカニズムと予防についてお話します
	骨粗しょう症の予防について	骨粗しょう症についてと予防方法についてお話します
	禁煙にチャレンジしてみませんか	たばこの害について説明し、楽に確実に禁煙できる方法、禁煙外来についてお話します
	動脈硬化の予防	動脈硬化の進み方、予防する為の生活習慣についてお話します
	健診結果の活かし方	健診結果から 各検査項目の意味と生活改善についてお話します
	特定保健指導について	特定保健指導の目的・指導の実施内容についてお話します
	歯と健康について	歯と健康の関係についてお話します
運動関連	手軽にできるストレッチ	自宅で職場でバス・電車の中で、いつでもどこでも簡単にできるストレッチを実践しながらお話します
	腰痛・肩こり解消講座	肩こり・腰痛のメカニズムを知り、解消の為の方法を実践しながらお話します
	職場でできる運動	仕事の合間のちょっとした すき間時間にできる運動について実践しながらお話します
	チェアーエクササイズ	膝・足に負担をかけずにイスに座って楽しく運動し、筋力アップする方法について実践しながらお話します
	簡単な運動とストレッチ	高齢者の方向けの運動を安全に楽しく行えるような方法を実践しながらお話します
	適度な運動の大切さ	気軽にできる運動の大切さについてお話します
	自分にあったウォーキング	音楽に合わせて歩きながら、自分に適したペースを見つけられるよう、実践しながらお話します
	ダンベル体操	ダンベルを使った気軽にできる体操を実践しながらお話します
	脂肪燃焼ウォーキング	脂肪が燃焼できる強度のウォーキングペースを実践しながらお話します
栄養関連	生活習慣病予防のための食事について ～6つの基礎食品群の表を用いて～	1日の適正な食事量について6つの基礎食品群の表を利用してお話します
	生活習慣病予防のための食事について ～食事バランスガイドを用いて～	1日の適正な食事量について食事バランスガイドを利用してお話します
	生活習慣病予防のための食事について (糖尿病)	糖尿病を予防する食事についてお話します
	生活習慣病予防のための食事について (脂質異常症)	脂質異常症を予防する食事についてお話します
	生活習慣病予防のための食事について (脂肪肝)	食事の傾向を把握し、脂肪肝にならないための食事についてお話します
	生活習慣病予防のための食事について (肥満)	肥満を予防する食事についてお話します
	生活習慣病予防のための食事について (高血圧)	高血圧を予防する食事についてお話します
	生活習慣病予防のための食事について (高尿酸血症)	高尿酸血症を予防する食事についてお話します
	ご家族の食生活について	生活習慣病予防の為の食事について 各年代の食事のポイントをお話します
	あなたの食事は大丈夫？	自分の食生活を振り返り、望ましい食事のあり方についてお話します
	メタボリックシンドロームの予防・解消	メタボリックシンドロームの発生メカニズムと 食事を中心とした予防についてお話します
メンタルヘルス・関連	メンタルヘルスの基礎知識	ストレスとは何か？ ストレスが心身に与える影響についてお話します
	健幸にいつまでも働くために ～働く方の生活上のポイントについて～	働く方がいつまでも心も体も健やかにすごせるよう、生活上のポイントについてお話します
	うつ病について	うつ病のメカニズム・予防を説明、またうつ病の方への接し方についてお話します
	リラクゼーション ～呼吸法・筋弛緩法～	なかなかリラックスできない自分を発見し、呼吸法・筋弛緩法を実践しながらお話します
	休養と睡眠について	休養の必要性、睡眠についてお話します
その他	MCI・認知症について正しく知ろう	MCI(軽度認知障害)・認知症について正しく知り、生活上の予防ポイントについてお話します
	健康寿命を延ばすために ～フレイルって何だろう？ 正しく知って健康寿命をのばそう～	フレイル(虚弱)について正しく知り、健康寿命を延ばす方法についてお話します
	ピロリ菌について	ピロリ菌とピロリ菌除菌、胃がん予防についてお話します
	内視鏡を受けてみませんか？ ～消化器内視鏡技師からコツを伝授～	消化器内視鏡技師より内視鏡検査を受ける際の苦痛を軽減できるコツについてお話します

2024 年度 健康増進講演 活動実績

開催日	講演内容	場所	担当者（講師）
7月26日	メンタルヘルス	沼津市民文化センター	保健師 高木 順子
7月30日	健康食品ウソ・ホント	沼津聴覚特別支援学校	保健師 佐野 真衣
10月4日	メンタルヘルス	沼津市民文化センター	保健師 高木 順子

2024 年度を振り返って

利用くださいました皆様のおかげで「事業年報」を発刊することができました。心より感謝申し上げます。

さて2024年度は、健康経営ブランディング戦略を昇華させ、保健事業は「費用ではなく投資である」、その成果にコミットしていくことが達成できた年でありました。また、当施設の事業計画は、ご利用者様のご要望を重要視した以下の内容にて設定し、その達成に向けて職員一同尽力してまいりました。

1. 経営構造の構築と経営の安定化

施設内の受入が飽和状態である中、外来枠の調整を行い要望の高い労災二次健診枠を増加することができました。あわせて、胃カメラ検査枠についても、増枠することができました。近隣市町の施設外住民健診についても、新規に1市町と契約締結ができました。

2. 採用環境の整備と人材育成の推進

人材（人財）の育成では、健康診断の品質向上を目的とした専門資格の取得や更新が行われています。事務職についても第一種衛生管理者の取得を進め、知識の向上に努めてきました。健康経営を推進するうえでは、職員の健康管理にも努め、当施設職員は人間ドック100%の受診が達成できました。

3. 「連携」による“聖隷”ならではの一体化したサービスの提供

精密検査受診率の向上は当然ながら、より早く治療に移行するために専門診療科への紹介体制の強化を目的に、聖隷沼津病院と継続的に連携していきます。

4. 最高の質による専門サービスの提供

産業保健活動を推進し、健康経営のパートナーとして地域企業に対する情報提供（ビジュアルサマリー：団体別健診結果分析）を15社に実施してきました。専門職のアドバイスが企業内健康づくり活動の一助となっています。

5. 保健事業の使命の追求

提供するサービスを安心してご利用いただくためにも、管理体制等を強化、可視化のうえ第三者による機能評価を受診し、継続認定いただきました。

各団体、各事業所、及び地域の皆様方のご協力により、受診者件数も約12万件の実績となりました。深く感謝いたしております。今後も継続して、「健康経営の推進」、「健康寿命の延伸」、「健診の質」、「情報管理の質」に力点を置き、皆様から必要とされる施設として、保健事業の使命を追求し活動を推進してまいります。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

聖隷沼津健康診断センター
事務長 岡野 淳

2024 年度
聖隷沼津健康診断センター 事業年報
第 18 号

発行 2026 年 3 月

〒410-8580 静岡県沼津市本字下一丁田 895-1

TEL 055 (962) 9882 FAX 055 (952) 1019

ホームページ <http://www.seirei.or.jp/numazu-kenshin/>

発行者	矢部 雅己
編集責任	認定更新・年報委員会
印刷	東邦印刷包装株式会社

「あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ」
聖書の教え「隣人愛」が私たちの精神です



The Fuyo Foundation SEIREI NUMAZU
Health Evaluation And Promotion Center

Love your neighbor as yourself.

